

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成30年5月17日 (2018.5.17)

【公開番号】特開2017-11591(P2017-11591A)  
 【公開日】平成29年1月12日 (2017.1.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-002  
 【出願番号】特願2015-127038(P2015-127038)  
 【国際特許分類】

H 0 4 B 10/116 (2013.01)

H 0 4 B 10/66 (2013.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 9/00 1 1 6

H 0 4 B 9/00 6 6 0

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年3月26日 (2018.3.26)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 6】

上記目的を達成するため、本発明に係る情報復号装置は、可視光通信用の複数のマーカ  
 ーが発する光を夫々受光する受光手段と、前記受光手段により夫々受光された光に基づい  
 て、前記複数のマーカ  
 ーが発した情報へ夫々復号する復号手段と、情報を出力する出力手  
 段と、前記復号手段によって夫々復号された情報を出力するよう前記出力手段を制御する  
 第 1 の出力制御手段と、前記夫々復号された情報に所定の情報が含まれている場合、夫々  
 復号された前記情報を統合した情報を出力するよう前記出力手段を制御する第 2 の出力制  
 御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 7】

上記目的を達成するため、本発明に係る情報復号方法は、可視光通信用の複数のマーカ  
 ーが発する光を夫々受光する受光ステップと、前記受光ステップにて夫々受光された光に  
 基づいて、前記複数のマーカ  
 ーが発した情報へ夫々復号する復号ステップと、前記復号ス  
 テップにて夫々復号された情報を出力するよう制御する第 1 の出力制御ステップと、前記  
 夫々復号された情報に所定の情報が含まれている場合、夫々復号された前記情報を統合し  
 た情報を出力するよう制御する第 2 の出力制御ステップと、を含むことを特徴とする。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 8】

上記目的を達成するため、本発明に係るプログラムは、コンピュータを、可視光通信用の複数のマーカーが発する光を夫々受光する受光手段、前記受光手段により夫々受光された光に基づいて、前記複数のマーカーが発した情報へ夫々復号する復号手段、前記復号手段によって夫々復号された情報を出力するよう出力手段を制御する第1の出力制御手段、前記夫々復号された情報に所定の情報が含まれている場合、夫々復号された前記情報を統合した情報を出力するよう前記出力手段を制御する第2の出力制御手段、として機能させることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可視光通信用の複数のマーカーが発する光を夫々受光する受光手段と、  
前記受光手段により夫々受光された光に基づいて、前記複数のマーカーが発した情報へ夫々復号する復号手段と、  
情報を出力する出力手段と、  
前記復号手段によって夫々復号された情報を出力するよう前記出力手段を制御する第1の出力制御手段と、  
前記夫々復号された情報に所定の情報が含まれている場合、夫々復号された前記情報を統合した情報を出力するよう前記出力手段を制御する第2の出力制御手段と、  
を備えることを特徴とする情報復号装置。

【請求項2】

前記復号手段が復号した情報に前記所定の情報が含まれるか否かを判断する判断手段を更に備え、  
前記第1の出力制御手段は、前記判断手段により前記所定の情報が含まれていないと判断された場合に前記夫々復号された情報を出力するよう前記出力手段を制御し、  
前記第2の出力制御手段は、前記判断手段により前記所定の情報が含まれていると判断された場合に前記統合した情報を出力するよう前記出力手段を制御することを特徴とする請求項1に記載の情報復号装置。

【請求項3】

前記第2の出力制御手段は、前記第1の出力制御手段により前記夫々復号された情報が出力されている場合には、これに代えて前記統合した情報を出力するよう前記出力手段を制御することを特徴とする請求項1又は2に記載の情報復号装置。

【請求項4】

前記出力手段は表示手段を含むことを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報復号装置。

【請求項5】

前記出力手段は、前記復号手段により復号された情報と、前記復号手段により復号された情報に対応する光とを対応付けて出力することを特徴とする請求項4に記載の情報復号装置。

【請求項6】

前記受光手段は、撮像手段を含むことを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項に記載の情報復号装置。

【請求項7】

可視光通信用の複数のマーカーが発する光を夫々受光する受光ステップと、  
前記受光ステップにて夫々受光された光に基づいて、前記複数のマーカーが発した情報へ夫々復号する復号ステップと、  
前記復号ステップにて夫々復号された情報を出力するよう制御する第1の出力制御ステ

ップと、

前記夫々復号された情報に所定の情報が含まれている場合、夫々復号された前記情報を統合した情報を出力するよう制御する第2の出力制御ステップと、

を含むことを特徴とする情報復号方法。

【請求項8】

コンピュータを、

可視光通信用の複数のマーカーが発する光を夫々受光する受光手段、

前記受光手段により夫々受光された光に基づいて、前記複数のマーカーが発した情報へ夫々復号する復号手段、

前記復号手段によって夫々復号された情報を出力するよう出力手段を制御する第1の出力制御手段、

前記夫々復号された情報に所定の情報が含まれている場合、夫々復号された前記情報を統合した情報を出力するよう前記出力手段を制御する第2の出力制御手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。